



ヤマザクラ

2024 年（令和 6 年）1 月 22 日（月）発行

新年にあたって

理事長 木田章一

新年明けましておめでとうございます。

2024 年 1 月 1 日、16 時 10 分にマグニチュード 7.6、震度 7 の能登半島地震が発生しました。その被害は甚大で日を追って深刻さが増しています。全国からの災害ボランティアの申し込みも道路事情や受け入れ態勢等の問題から進んでいません。

いわき市でも 2011 年 3 月 11 日に発生したマグニチュード 9、震度 6 弱の東日本大震災が発生し、本市は地震被害より津波被害の方が甚大でした。

そんな時に、ろうきん森の学校のメンバーから災害ボランティアの受け入れの話があり、当湯の岳山荘が活動拠点になりました。好都合だったのは、市街地では断水し復旧に 3 週間かかったところ、当山荘は 3 km 先から沢水を引き入れているので水の心配がなかったことです。総勢約 50 人が長期間滞在し、海岸付近の津波被害のあった住宅のがれき撤去作業にあたってくれました。昨年 9 月の内郷地区の浸水被害でもその時の団体が災害ボランティアにきてくれました。いつくるかわからない災害時に宿泊できる施設として全国でも知れ渡っています。

そんな湯の岳山荘ですが、12 月議会で、湯の岳山荘の用途廃止が決まりました。山荘の他にはいわき市海竜の里センターの 2 ヶ所です。当山荘は林業研修センターとして 1977 年に開設しましたが、近年はロッククライミング愛好者や夏休み等の家族連れの利用など、年間約 1,100 人の宿泊があります。当会は、2006 年に NPO を取得し、その年から湯の岳山荘の指定管理者となり、ここを拠点に活動してきました。

残念ではありますが、市の公共施設を半減するためやむをえません。来年度、施設はそのまま残り、各班の定例活動や学校支援等での使用はこれまでどおりできますので安心してください。

来年度、市の予定は取り壊し費用を算出し、その後、一般公募を図り譲渡先を決定し、譲渡先がなければ令和 7 年度に解体するとのことです。

廃止理由は老朽化とのことですが、修繕等我々ができることはやってきたこともあり、施設の状態は我々が管理するようになった 18 年前と全く変わらず老朽化は感じられません。

今後の湯の岳山荘に係る状況は会報でお知らせします。

最後に、今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動してくれるようお願いいたします。

(2024,1,3 記)



【森林整備班の活動報告】

1 定例活動

整備班の年齢も年々高くなり疲れやすくなってきたため作業効率が低下してきたが、安全第一で作業にあたっていきたい。

(記：木田)

(2023.10.1～12.28)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
10/4	水	曇	伐採木の選木	4
7	土	晴	バンガロー裏の草刈り	6
11	水	晴	〃、今井講師指導	7
18	水	曇	植樹会場草刈り	5
21	土	晴	〃	6
25	水	晴	〃	6
11/1	水	晴	〃	4
4	土	晴	池南側草刈り	7
8	水	曇	植樹祭用支柱作り	6
15	水	雨/曇	支柱先とぎ	5
18	土	晴/曇	植樹会場草刈り	6
22	水	晴	植樹祭準備	2
29	水	晴	炭だし	6
12/2	土	晴	植樹祭準備	5
6	水	雨	チェーンソー研修会のため作業中止	—
13	水	晴	木炭用コナラ除伐	7
16	土	曇	植樹祭支柱手直し	4
20	水	晴	チェーンソー研修会のため作業中止	—
27	水	晴	栗園跡地ホダ木伐採、三角小屋整理、道具の手入れ	7
計				87



【農業班の活動報告】

1 活動報告（10～12月）

収穫の秋は楽しみです。作物は手をかけたただけ答えてくれます。白菜は種まき時期が猛暑で芽が出ず、遅れて蒔いたので結球していませんでした。そこで菜花の収穫時期を待つことにします。さつまいもの収穫は良かったのですが、無農薬なので皮がなめられていたのが気になるところです。現在、畑で生育中はネギ、玉ねぎ、そら豆、キャベツ、白菜、らっきょうです。

（記：鈴木邦）

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
10/2	月	晴	ネギ草引き・土寄せ、大根の間引き	10
9	月	雨	ハウス内整理、ミーティング	8
14	土	晴	自然学校「さつまいも掘り体験」支援	8
16	月	晴	玉ねぎ、らっきょう草引き、大根・大かぶ間引き	8
23	月	晴	さつまいも収穫	8
28	土	晴	さつまいも収穫	5
30	月	晴	さつまいも収穫	7
11/6	月	晴	玉ねぎ定植	6
11	土	晴	里芋収穫、落花生収穫	6
13	月	曇	里芋収穫Ⅱ	7
20	月	晴	玉ねぎ、キャベツ定植	7
25	土	晴	そら豆定植	4
27	月	曇	山荘でミソの袋詰め	5
12/4	月	晴	玉ねぎ、らっきょう追肥、野らぼう菜定食	8
9	土	晴	ネギ、大根収穫、芋煮会	9
11	月	曇	ネギ草引き、カブ・大根収穫	7
18	月	晴	落ち葉集め（県道、名高儀地区）	4
23	土	雨	落ち葉集め（ Ⅱ ）	5
25	月	晴	落ち葉集め（落ち葉のプールから）	7



【観察班の活動報告】

10月1日(日)広野町 五社山 参加者 13名

前日は雨が降り、当日は幸いにも雨も上がり曇り空の下での観察会でした。足下が悪いので、上の駐車場から展望台のある頂上までの管理道路をメインに歩き、帰りは途中から原生林に入り下山しました。ミズナラ・ブナ・ハクウンボク等の木々、オヤリハグマ・タマブキの他に《サワフタギ》の瑠璃色の実も見ることが出来ました。

11月5日(日)小川町 孫太郎川沿い 参加者 19名

11月のスキルアップ研修は、会員である小川町在住、古川眞知子さん宅の側を流れる《孫太郎川》沿いの観察でした。台風の影響で所々木々が倒れていましたが、整備班の佐藤行年さんがノコギリ持参で参加してくれ、木々を切って道を作ってくれての散策でした。

楓《チドリノキ・ミツデカエデ他》カツラの大木等々、種類の多さに驚きました。

昼ごはんは、古川さん手作りの《とん汁》の他に、皆が持ち寄った物で初めての会食。参加者 19名楽しく親交を深められた1日でした。

12月10日(日)遠野町 滝富士 参加者 10名

当日は12月とは思えないほどの暖かさでした。

十両(ヤブコウジ)・万両(マンリョウ)・億両(ミヤマシキミ)のあざやかな赤い実があちこちで見られ、《ミヤマシキミ》《アセビ》《シュンラン》には、もう蕾をつけており、寒い冬を耐え来春花を咲かせるのを待っているだろうその姿は、健気に見える一方、その偉大さを感じとりながらの観察会となりました。後半 260m…急な上り坂を、それぞれ頑張って登り頂上につくと、その先には太平洋が。その素敵な眺めに一同疲れもぶっ飛んだ感じでした。

(記：円谷)



【プログラム班の活動報告】

1. 学校・幼稚園等の支援活動

今期は10月に3回、11月に7回、合わせて10回の支援を行いました。

その活動の内訳は別表のとおりです。

その支援の活動のようすは、次の写真のとおりです

学校等における学習支援活動（10/1～11/30）

No.	月 日	学校名	学年	学 習	参加者数	支援者数
1	10月5日(水)	中央台北小	4	総合学習	36	11
2	10月18日(火)	綴小	3・4・5・6	森林環境学習	28	9
3	10月25日(水)	綴小	1・2	森林環境学習	13	4
4	11月1日(水)	錦東小	1	総合学習	39	8
5	11月2日(木)	平六小	3	総合学習	37	9
6	11月7日(火)	錦東小	1・園児	総合学習	36・15	10
7	11月16日(木)	江名小	1	生活科	14	7
8	11月17日(金)	藤原小	3	総合学習	21	5
9	11月22日(水)	錦東小	3	総合学習	31	6
10	11月29日(木)	キンダーガーデン	園児	里山・自然保育	20	6
計					290	75

2. その他の支援活動

・12月3日(日) 植樹祭 自然観察と植樹

(記：齊藤)



【木工班の活動報告】

木工班は各自、自由製作で活動しており、今回もロクロ使用の器、小物入れ、椅子などいろいろでした。



今回湯の岳山荘の設備として、バンガロー上に展望台を設置しました。とても見晴らしが良く、太平洋がきれいに見渡せます。

それから虫の家を作りました。小さな蜂類を対象に、細い竹に巣作りできるようにした虫のアパートです。今年はどれぐらい虫が住んでくれるか楽しみです。
(記：野木)



【ろうきん中間事務局会議】

「令和5年度労働金庫連合会中間事務局会議」が12月7日(木)～8日(金)にかけて、岐阜地区で行われました。

岐阜地区の活動拠点を視察後、全国5地区の今年度の活動状況について報告がありました。活動がコロナ前の水準に戻った地区もありましたが、活動状況は、地区によってばらつきがありました。

令和6年度が20年目の節目の年となり、令和7年度以降は、労働金庫連合会の支援の在り方が変わっていくという方針が示されました。

他地区の取り組みについて情報交換ができ、本会にすぐに応用できそうなプログラムも紹介され、とても有意義な時間となりました。
(記：馬場口)



【ろうきん森の学校・自然体験活動の活動報告】

1 令和5年10月15日（日） 参加者 29名

- (1) 自然観察会 「ドングリころころ」 (2) 自然体験「サツマイモ掘り」→雨天中止
(3) 木工クラフト「ドングリ工作」 (4) 里山レストラン「サツマイモご飯」

雨のため、自然体験活動「サツマイモ掘り」は中止となりましたが、「どングり」をテーマに、自然観察会や木工クラフトを実施しました。自然観察会は、ドングリの種類を確かめたあと、森の中へ。木工クラフトでは「どングりのやじろべえ」を作りました。



2 令和5年11月19日（日） 参加者 43名

- (1) 自然観察会 「落ち葉を集めよう」 (2) 自然体験「落ち葉のプール」
(3) 木工クラフト「落ち葉のカレンダー」 (4) 里山レストラン「冬野菜カレー」

晩秋の里山を歩きながら、色が鮮やかな葉や形の面白い葉を集めた後、落ち葉のカレンダー作りが始まりました。それぞれテーマを決めて、それに合う落ち葉を組み合わせっていきます。最後にラミネートで仕上げて完成です。素敵なカレンダーが出来上がりました。



3 令和5年12月17日（日） 参加者 43名

- (1) 自然観察会 「紅葉のトンネルを歩こう」 (2) 自然体験「そば打ち体験」
(3) 木工クラフト「クリスマスリース作り」 (4) 里山レストラン「手打ちそば」

今回の「ソバ打ち体験」には、多くの子どもたちが参加してくれました。粉からどんどん変化していく様子に興味津々。会員のソバ打ち名人から手ほどきを受けながら体験を楽しみました。そして、家族で味も楽しみました。

(記：馬場口)



【湯の岳自然学校 in いわき・活動報告】

1 令和5年10月14日（土）（サツマイモ掘り体験・農業班）

(1) 実施内容

高桑さんより、サツマイモ掘りのやり方の説明を受け、最初に株のすぐ上をカマで切り、次にスコップをサツマイモの脇に差し入れサツマイモを起こします。するとたわわについたサツマイモが出てきました。子ども達は大喜びで掘り取っていました。お土産は1家族2kgです。



【農業班、志賀さんの感想】

今日は天気も良く絶好のサツマイモ掘り日和でした。

真新しくつをはき、子どもには重いイモづる運びを一生懸命、真剣な顔で取り組んでくれました。掘ってイモが出てくると歓声を上げ、イモを持ち上げ大喜びでした。大人の人たちの言うこともよく聞き、帰りにはお土産のイモを大事そうに持っていきました。一人のお母さんは、イモの種類と料理の仕方を熱心に聞いてきて、ためになったとよろこんで帰っていき、楽しい一日でした。



(2)参加者数 5家族 17名

2 令和5年11月18日（土）（秋の星空観察会）

(1)実施内容

いわき天文同好会の協力（9名）を受け昨年に引き続き実施しました。最大の目的は、17:41～17:43の短時間に有人宇宙船「ISS」を見ることでしたが、あいにく小雨となり見ることはできませんでしたが、雨があがった後に木星や土星を大望遠鏡で見ることができ、参加者は大変満足していました。

(2)参加者数 9家族 18名



3 令和5年11月25日（土）（バランストンボを作ろう・木工班）

(1)実施内容

最初は小刀で竹を削るのが恐る恐るでしたが、だんだん上手になりトンボの形になってきました。参加者がインフルエンザで来れなくなり、マンツーマンでの指導となり、何個も作ることができました。

(2)参加者数 1家族 2名



4 令和5年12月23日(土)(ミニ門松作り・木工班)



(1)実施内容

季節柄、大変人気があり定員をオーバーしてしまいました。1家族1個の予定でしたが、追加費用を払っても作りたい人が続出し13個が18個になってしまうほどでした。完成した門松は玄関に飾られ正月を迎える準備ができました。

(2)参加者数 13家族 25名

(記：木田)

【林研グループ木工工作・活動報告】

1 令和5年12月16日(土)

(Xmasリース作り・木工班)

(1)実施内容

皆さん思い思いの材料で飾り付け、素敵なXmasリースができました。これで楽しいクリスマスを過ごせます。

(2)参加者数 5家族 8名

(記：木田)



【植樹祭報告】

令和5年12月3日(日)に第10回植樹祭をバンガロー東側で行いました。植樹祭の会場まで自然観察会をしながら会場到着。

今井先生からクヌギの苗の植え方を教わり、全部で100本の苗を植えました。

(記：木田)



(発行) NPO法人 いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田 章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <https://iwaki-mori.jimdo.com/>